

公益財団法人群馬健康医学振興会 平成 29 年度事業報告書
(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

I. 公益目的事業

1. 「公 1」県民の健康づくりのための研究助成・書籍発行・講師派遣事業

(1) 県民の健康づくりのための研究助成事業

1) 医学研究、調査及び教育に対する助成

群馬県内又は近郊、その他の地域に勤務する医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、療法士、保健師、社会福祉士、その他の保健・医療及び福祉関連職、教員、団体等不特定多数の医療従事者を対象に、年度内に行う研究又は事業で、当振興会の趣旨に沿った活動を募集のうえ、選考を行い、平成 29 年度は下記の 6 件に研究助成金を交付した。

番号	氏名	勤務先・職名	研究又は事業のテーマ	助成額 (万円)
1	古賀 康彦	群馬大学医学部附属病院 呼吸器・アレルギー内科 助教	群馬県内の結核患者における免疫再構築症候群の解析	30
2	徳江 浩之	群馬大学医学部附属病院放射線診断核医学 助教	群馬県内で診断・治療した癒痕部妊娠症例の患者背景と治療経過と予後についての検討	30
3	花村 健次	群馬大学大学院医学系研究科 神経薬理学 助教	認知機能低下に伴う神経シナプス形態変化の脳内イメージング解析	30
4	宮崎 将也	群馬大学医学部附属病院超音波診療センター 副センター長	高齢あるいは併存疾患を有する腎がん患者に対する経皮的凍結療法の確立と実践	30
5	武者 篤	群馬大学重粒子線医学推進機構 助教	放射線治療時の口腔・咽頭・喉頭部における粘膜炎発症線量の解析	30
6	山崎 友昭	群馬県済生会前橋病院 リハビリテーション室 室長	日本版 Functional Capacity Evaluation の開発とその有用性の検討	30
合 計				180

2) 第 117 回日本外科学会定期学術集会に対する助成

日本外科学会は、国民の健康増進確立と疾病治療のために活動する学術団体である。本学会の目的と活動は、外科学を通じて本邦のみならず

世界のあらゆる分野の医学の研究活動、医療の進歩に貢献するものである。

第117回日本外科学会定期学術集会(平成29年4月27日(木)~29日(土))は、国立大学法人群馬大学医学系研究科病態総合外科学分野桑野博行教授が主幹し、県内においても市民公開講座(平成29年4月30日(日))が開催された。

本学術集会を支援することによって、地域住民の健康増進、地域医療の振興に貢献することが期待できるため、下記のとおり募金を行い、研究助成金として奨学・研究責任者 桑野教授に交付した。

年 度	摘要	件 数	金 額	備 考
平成27年度	個人	49名	14,250,000円	
	法人	13名	7,300,000円	
	計	62名	21,550,000円	
平成28年度	個人	67名	13,965,000円	
	法人	19名	11,800,000円	
	計	86名	25,765,000円	
平成29年度	個人	1名	100,000円	
	計	1名	100,000円	
合 計	個人	117名	28,315,000円	
	法人	32名	19,100,000円	
	計	149名	47,415,000円	

3) 第64回日本臨床検査医学会学術集会及び第29回世界病理臨床検査医学会連合会議運営に対する助成

一般社団法人日本臨床検査医学会は、臨床検査医学(臨床病理学)の進歩・普及を図り、もってわが国の学術の発展と健康増進確立に寄与する学会である。

第64回日本臨床検査医学会学術集会(平成29年11月16日(木)~19日(日))、第29回世界病理臨床検査医学会連合会議(平成29年11月15日(水)~18日(土))及び第63回群馬県医学検査学会(平成29年12月17日(日))は、群馬大学大学院医学系研究科臨床検査医学講座主任兼群馬大学医学部附属病院検査部長 村上正巳教授が主幹となり開催された。

本学会を支援することによって、地域住民の健康増進、地域医療の振興に貢献することが期待できるため、下記のとおり募金を行い、研究助成金として奨学・研究責任者 村上教授に交付した。

年 度	摘要	件 数	金 額	備 考
平成29年度	個人	31名	4,330,000円	
	法人	21名	5,360,000円	
	計	52名	9,690,000円	

(2) 書籍発行事業

概ね5年毎の研究助成、講師派遣事業の成果、及びその間に法人が収集した最新の医学の進歩について、広く県民、地域住民に知らしめるための書籍を発刊し、地域の医師会、病院、学校施設、行政などに寄贈すると共に一般の書店、病院で販売する。

平成元年4月に創刊後、これまでに5冊を発刊し、平成28年度に次刊(第6刊)を発刊することとした。

その後、書籍名を「“肥満と疾患：どこまで解明されたか?”」と定め、纏め役の群馬大学大学院医学系研究科 病態制御内科学 山田正信教授のプランニングの下、下記のタイトルで各々著者に原稿依頼した。

当初、平成28年度の発刊を予定したが、原稿の校正等に時間を要したため平成29年8月15日3,000冊発刊し、平成29年度は下記のとおり頒布及び販売した。

1) 書籍のタイトル

目次	タイトル(仮題)	著者(敬称・所属略)
	発刊に寄せて	森川昭廣
	はじめに	山田正信
第1章	肥満とは	
1	肥満者は増加しているか?	森 昌朋
2	肥満とは? BMIとは?	大島喜八
3	肥満と肥満症の違い	岡田秀一
4	脂肪細胞と肥満	佐藤哲郎、吉野 聡
5	内臓脂肪と皮下脂肪の違い	麻生好正
6	末梢中枢連携と恒常性V S 報酬性摂食	矢田俊彦
7	エネルギー代謝と肥満	北村忠弘
第2章	肥満と疾患	
8	肥満とメタボリック症候群	中島康代
9	肥満と糖尿病	伴野祥一
10	肥満症と脂質異常症	犬飼敏彦
11	肥満と高血圧	倉林正彦
12	肥満と高尿酸血症	大山善昭、中村哲也
13	肥満と脂肪肝	柿崎 暁
14	肥満と睡眠時無呼吸症候群や呼吸障害	鶴巻寛朗、久田剛志
15	肥満と脳血管障害	朝倉 健
16	肥満と心疾患	安達 仁
17	肥満と整形外科的疾患、骨粗鬆症	高岸憲二、内田 訓、 下山大輔、大島淳史
18	肥満と消化器癌	星 恒輝、草野元康
19	肥満と月経異常	岸 裕司
20	肥満と認知症	池田佳生
21	肥満と慢性腎臓病 (CKD)	坂入 徹、廣村桂樹
22	肥満とサルコペニア	田澤昌之
23	小児の肥満	大津義晃、荒川浩一

第3章	肥満症の治療	
24	肥満の食事療法	齊賀桐子
25	肥満の運動療法	齋藤従道
26	肥満症の行動療法	松本俊一、山田正信
27	肥満の薬物治療	山田英二郎
28	肥満・糖尿病に対する外科治療	笠間和典、関 洋介
第4章	肥満研究最前線	
29	肥満は遺伝か？	橋本貢士
30	肥満の原因遺伝子はどこまでわかったか？	土屋天文
31	肥満と報酬系	下村健寿
32	脂肪細胞の最前線	登丸琢也
33	摂食調節メカニズム研究の最前線	佐々木 努

2) 頒布

番号	頒布先	頒布数	備考
1	理事長外職員検本・展示	13 冊	財団用
2	編集委員	15 冊	無償頒布
3	執筆者	33 冊	無償頒布
4	当財団役員・評議員	17 冊	無償頒布
5	賛助会員	104 冊	無償頒布
6	医学研究科教授会	80 冊	無償頒布
7	保健学研究科教授会	65 冊	無償頒布
8	同窓会役員	33 冊	無償頒布
9	日本肥満学会外	6 冊	無償頒布
10	群馬県健康福祉部医務課	270 冊	無償頒布
11	東和銀行	3 冊	無償頒布
12	群馬大学学長外幹部職員	53 冊	無償頒布
13	群馬県医師会	2 冊	無償頒布
14	健康支援総合センター	2 冊	無償頒布
15	医師賠償責任保険説明会	120 冊	無償頒布
16	県内医療系大学	12 冊	無償頒布
17	医学部講座・附属病院	107 冊	無償頒布
18	附属病院看護部	201 冊	無償頒布
19	同窓会役員(地区役員)	149 冊	無償頒布
20	県内肥満症外来病院	160 冊	無償頒布
21	放射線部・検査部・薬剤部	30 冊	無償頒布
22	県内肥満症外来医院・クリニック	100 冊	無償頒布
23	新規賛助会員	26 冊	無償頒布
	計	1,601 冊	

3) 販売

番号	販売先	販売数	備考
1	委託販売(上毛新聞社)	未集計(委託契約中)	500冊依頼
2	委託販売(同愛会)	4冊(委託契約中)	10冊依頼
3	根本俊和理事	10冊	
4	奈良純夫顧問	20冊	
	計	34冊	

(3) 地域医療の振興、地域住民の医学知識向上のための講師派遣事業

地域において健康づくりを目的とした講演を主催する公共の施設又は福祉を目的とする団体からの講師派遣の要請に応え、下記のとおり講師を派遣した。

1	派遣講師名	群馬大学大学院保健学研究科 リハビリテーション医学 准教授 山路 雄彦
	派遣日	平成29年11月16日 10時00分～11時40分
	派遣先	若宮地区老人クラブ連合会 会長 松村 尚志
	会場	若宮町三丁目公民館
	講演名	リハビリテーションの実際
	対象者	高齢者学級生
	聴講者	67名
2	派遣講師名	群馬大学大学院保健学研究科 看護学 教授 内田 陽子
	派遣日	平成30年2月16日 14時00分～15時30分
	派遣先	前橋市城南地区地域づくり協議会 地域福祉部会長 木村 浅治郎
	会場	前橋市城南公民館
	講演名	さわやか健康ライフを求めて ～排尿ケアを中心として～
	対象者	サロン運営者・担い手、地域福祉関係団体リーダー等
	聴講者	144名

II. 収益目的事業

1. 「収1」医師賠償責任保険の委託契約集金事務

株式会社 北栄を取扱代理店とする医師賠償責任保険の委託契約集金事務の実績は、下記のとおりであった。

摘要	加入者数	事務費	備考
団体医師賠償責任保険 (内、交通傷害特約付き)	2,304名 (1,102名)	5,532,038円	

Ⅲ. 管理事業

1. 賛助会員

賛助会員の募集を行い、次のとおり賛同者を得た。

区 分	員 数	口 数	会 費	備 考
個人会員	64名	166	830,000円	
法人会員	45名	46	2,300,000円	
計	109名	—	3,130,000円	

2. 理事会、評議員会の開催

(1) 理事会の開催

定時(第15回)理事会開催 平成29年5月11日(木)

定時(第16回)理事会開催 平成29年10月5日(木)

定時(第17回)理事会開催 平成30年3月22日(木)

(2) 評議員会の開催

定時(第10回)評議員会開催 平成29年6月22日(木)

3. 公益法人の運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査

(1) 検査日時 平成30年1月16日(火)

(2) 検査員 群馬県総務部学事法制課公益法人係 山崎主幹
群馬県総務部学事法制課公益法人係 鈴木主任

(3) 検査の結果 是正又は改善すべき措置等はなし